



やった！捕まえた！！

## 親子でトンボを観察 (8月8日)

夏休み親子トンボ教室が市民の森トンボ公園で開かれ、親子53人が珍しいトンボなどを観察しました。

16面の池の周りには、シオカラトンボやオニヤンマなど、たくさんトンボが生息。参加した親子たちは虫捕り網を手に走り回り、トンボを捕まえては笑顔のをのぞかせていました。



華麗な跳躍

## 華麗に空中を舞う (8月7日・8日)

全国高校トランポリン競技選手権大会が樹海体育館で開催され、全国82校から集まった163人の選手が難易度の高い技を披露し、優勝を目指しました。

大会は個人、シンクロナイズドの各種目が行われ、規定演技と自由演技の合計点で順位を競うもの。地元勢は佐々木慎平君(大館国際情報学院3年)の11位が最高だったものの、各選手たちのダイナミックな演技が披露されると、詰め掛けた観客から拍手が送られていました。



## 貴重な体験談を報告 (8月17日)

(8月17日)

国際協力機構(JICA)海外青年協力隊員として派遣されていた畠山牧子さん(猿間)が、任期を終えて帰国し市役所を訪れました。畠山さんはアフリカ南部のザンビアの学校で2年間、体育を指導。現地での体験を報告し「自分でやりたいことは何でもやったほうがいい。何もやらないで後悔するより、失敗しても経験になりました」と振り返りました。

また「この体験を今後の人生に生かしたい」と話し、さらなる意欲を見せていました。

## 名器の音色に聴き入る (8月8日)

ピアノの名器「スタインウェイ」を自由に弾くピアノマラソンが、市民文化会館で開催されました。

このピアノマラソンは、世界3大ピアノの一つとされる名器を市民に公開して、一流ピアニストと同じ感覚を味わってもらおうと開催され、今回で18回目。

65組69人の参加者は、5分前後の持ち時間で思い思いに曲を演奏し、会場を訪れた観客を魅了していました。



美しい音色でした

## 社会人としての自覚みなぎる (8月15日)

(8月15日)

市主催の成人式が市民文化会館で行われ、637人が大人の仲間入りをしました。

会場にはスーツや華やかなドレスなどに身を包んだ新成人が勢ぞろい。市長や来賓からの祝辞のあと、新成人を代表して柴田康成さんが「社会の一員としての自覚を持ち、家族、地域の人の期待に応えられるような人になることを誓う」と力強くあいさつしました。

式には恩師も来賓として招かれていて、終了後には恩師を交え、久しぶりの友人たちと笑顔で写真を撮り合ったり近況報告したりして、旧交を温めていました。



旧友との楽しいひととき

